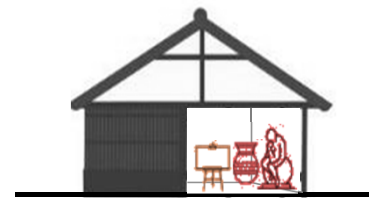


平戸文化とおもてなし力を磨く 城下町エリア魅力向上プロジェクト



商店街おもてなし隊
の結成



クリエイター
in レジデンス

アルベルゴ・ディフーゾタウン推進事業

1. 商店街おもてなし隊について

令和7年度から宿泊客等の受け入れがモデル地区で開始予定。

城下町エリアでのおもてなしを構築するため、おもてなしガイドの制作と活動主体の組織化に取り組む。

2. 事業概要

城下町エリアに関わる団体等で構成する「アルベルゴ・ディフーゾタウンおもてなし構築体制事業協議会」を令和6年6月に設立。

構成員は、商店街振興組合、商工団体、施設運営事業者、行政などで組織している。

活動状況として、これまで第7回の会議を開催し、まちあるきのワークショップや先進事例を学ぶ講演会・視察などを実施しているため、引き続き、会議を開催し、おもてなしガイドの制作に取り組む。

アルベルゴ・ディフーズタウン推進事業

組織イメージ



商店街
おもてなし隊

商店の活性化



活動支援



受託者

平戸市の方針を踏まえた
ファシリテート



平戸市チーム

市の方針に
かかる議論

調査・研究協力



大学教育機関

A D T 先進地



ADT運営ノウハウ

専門家



おもてなし構築

アルベルゴ・ディフーズタウン推進事業

会議状況

商店街の課題について ディスカッションのまとめ

今回は3チームに分かれて観光客にとって商店街の課題をみんなで出し合いました！
その中で各チームにとって重要な課題をいったん決めてもらいそれに対しての解決アイデアを出し合いました。



重要な課題への解決アイデア

課題1 週末ランチを食べられるお店がない

- ・空いているお店の情報をマップなどで見える化する
- ・若い人や思いがある人がチャレンジ、シェアキッチンで使えるお店をつくる
- ・キッチンカーなどを使う
- ・外から新業種を呼び込む
- ・商店街組合ごと話し合い、解決へ動く
- ・店先を貸し出す仕組みを作る

課題2 魅力的なスポットをつなぐ回遊性がない

- ・SNSでスポットをタグでつなぎ合わせる
- ・複数のポイントを回ったら特典をつける
- ・今あるものをうまくPRして見える化する
- ・お店の前にQRコードをつけて中々わかるようにする
- ・インフォメーション機能の強化
- ・ADTの施設を連携して利用

課題3 若い人が楽しめる場所がない

- ・キャッチフレーズやネーミングをつくる(てつなぎ商店街とか)
- ・テーマのある場所にする
- ・若い人向けのバーやカフェをつくる
- ・自撮りスポットや映えスポットのセットをつくる
- ・オープンなスペース

アルベルゴ・ディフーズタウン推進事業

先進地視察



大洲市 2024年10月27.28日
(一社)キタ・マネジメントの研修

大洲市が官民連携でどのように観光まちづくりを推進してきたか、これまでの経緯やコンセプト、具体的な事業について、2名の講師から説明していただきました。

1. 官民連携による歴史的資源を活かした観光まちづくり (高岡氏)
2. 持続可能な観光まちづくりの取り組みについて (井上氏)



認定案内人による大洲市の視察



大洲市の通りや町屋の歴史を語りながら案内していただきました。空家の改修については、放置状態の現況も見せていただき、そこからどのように活用していくか、そのプロセスや実施の仕組みについて解説がありました。宿泊施設であるNIPPONIAの建物ばかりでなく、他所から大洲に出店してきた魅力的な店も案内していただき、参考になりました。

アルベルゴ・ディフーズタウン受入体制支援事業

今後の取組み



商店街おもてなし隊結成

有志の住民(商店主)
による任意団体



まちの在るべき姿を
みんなで考える場をつくり
「まち全体でのおもてなし」を実現